

### 藤枝 市民提供の五月人形70点展示

藤枝市北方の葉梨西北活性化施設「白ふじの里」で5月31日まで、市民から提供を受けた五月人形約70点を展示している＝写真＝。地域活性化団体「白ふじの里実行委員会」(海野一博



会長)が市民や同会メンバーに協力を呼び掛けた。

会場にはかぶと飾りや甲冑(かっちゅう)飾り、武者人形など端午の節句を祝う五月人形が並ぶ。20~30年前の人形が多く、最も古くて50年以上前のものであるという。海野会長は「家庭で眠っていた人形を集めた。ぜひ見に来てほ

しい」と話す。17日からは同施設屋外にこいのぼり60匹も設置する予定。

**富士** 清水区の建設会社が伝統的構法 静岡市清水区の菊池建設は14日、富士市中之郷に、CLT(直交集成板)のパネルを、伝統的な落とし込み構法(板倉構法)で完成させた新築建物＝写真＝の現場見学会を開いた。

完成した建物は木造平屋建てで、延べ床面積は約289平方メートル。取り入れたCLTとは、板を



繊維方向に直交するように重ねて接着した大型の木質パネル。断熱や耐震性を確保できるとして注目を集めている。同施設では国産の杉の間伐材を厚さ6センチほど重ねたパネルを製作。さらに社寺仏閣などで使われた日本の伝統的な落とし込み構法で建設した。

同社によると、CLTを使ったパネルによる落とし込み構法の建物は世界でも珍しいという。見学会には県のほか、市内外の建設業者、建材メーカーなどの担当者約30人が訪れた。

**西伊豆** 堂ヶ島周辺でLCや中学生ら 海岸清掃

西伊豆ライオンズクラブと西伊豆町観光協会はこのほど、町立西伊豆中の生徒と協力して同町仁科の堂ヶ島周辺で清掃活動を行った＝写真＝。



約80人がボランティアに汗を流した。

中学生に地元の観光スポットを知ってもらい、ボランティア精神を養ってもらおうと初めて行った。堂ヶ島天窓洞周辺の流木や遊歩道に落ちているペットボトルなどを約2時間かけて拾い集めた。

## 高剛性加工木材CLT 利用しやすく

# 県内林業関係者も期待

### 改正建築基準法 施行

中・大規模建築物の構造材としても利用できる高剛性の加工木材として注目されている「直交集成板(CLT)」を使った建築物の設計や品質基準を定めた改正建築基準法がこ

の春、施行された。実験で強度や地震への耐性が確認され、従来のように個別に大臣認定を受けなくても、建築が可能になった。国産材の需要拡大にもつながる新たな建築資材として、県内の林業関係者からも期待を集めている。

## 国産材の需要拡大に

茨城県つくば市の建



CLTを使った住宅を建築業界の関係者らに紹介した見学会11日、茨城県つくば市

築研究所に、CLTを宅の実験棟が完成し、

茨城県つくば市の建

今年7、8日に見学会が開かれた。期間中、建築や住宅、木材業界の関係者計約700人が訪れた。

実験棟は国産のスギで造った高さ約6メートルの大判のCLTパネルを壁に使い、木の質感を生かした重厚で温かみのある造り。CLTの普及を促進する日本CLT協会(東京都)が建設し、施工性や耐久性を検証して部分利用の技術開発を目指す。

CLTは既に欧米でマンションや商業施設

**Q** 直交集成板(CLT) 板状に製材・乾燥した木材(ひき板)を繊維の方向が垂直に交わるように重ね、接着して加工する。2010年頃から国内で試作が始まった。国土交通省の実験で、5階建て集合住宅の場合、阪神大震災クラスの揺れに耐える性能が証明された。大きな面として利用できる上、コンクリートに比べて軽いため、施工が容易で工期短縮も見込める。改正建築基準法では日本農林規格を取得した木材の使用を規定。「燃えしろ」を設計することで3階建てまで石こうボードなどの防火被覆なしの設計を可能にした。

浜松市は6月に「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を設置する。「CLTは市内の木材産業活性化の手段となり得る」(林業振興課)と指摘する。国も「CLTの普及に向けたロードマップ」を2014年度に策定し、24年度までに50万立方メートルのパネル生産体制の構築を計画。林野庁は「公共施設や中高層ビルなど住宅以外への利用拡大を目指す」という。

天竜材の普及を狙う